

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

福島第一原子力発電所 2号機 原子炉格納容器内部調査装置の開発

東芝エネルギーシステムズ株式会社

IRID

本装置はIRIDの「原子炉格納容器内部調査技術の開発」プロジェクトで開発しています。
本成果は、経済産業省／廃炉・汚染水対策事業費補助金により得られたものです。

目次

- **2号機原子炉格納容器内部調査概要**
- **今回の調査計画**
- **調査装置の特長**

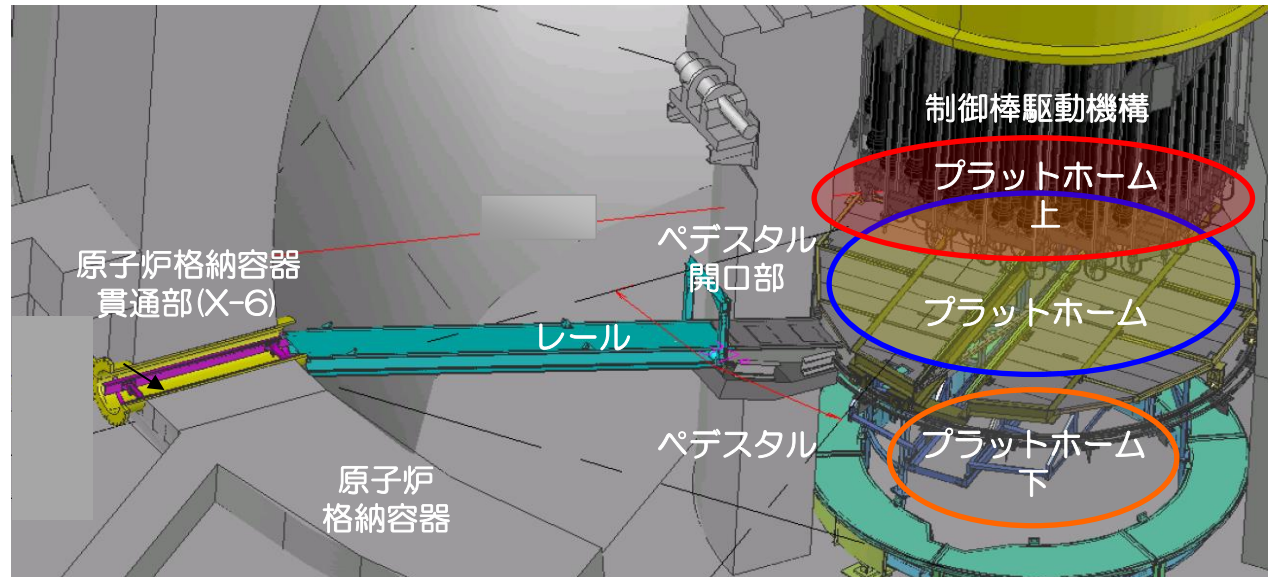
2号機原子炉格納容器内部調査概要

ペDESTアル内プラットフォーム上の状況調査 [平成29年2月実施済]



今回の調査

ペDESTアル内プラットフォーム下の状況調査



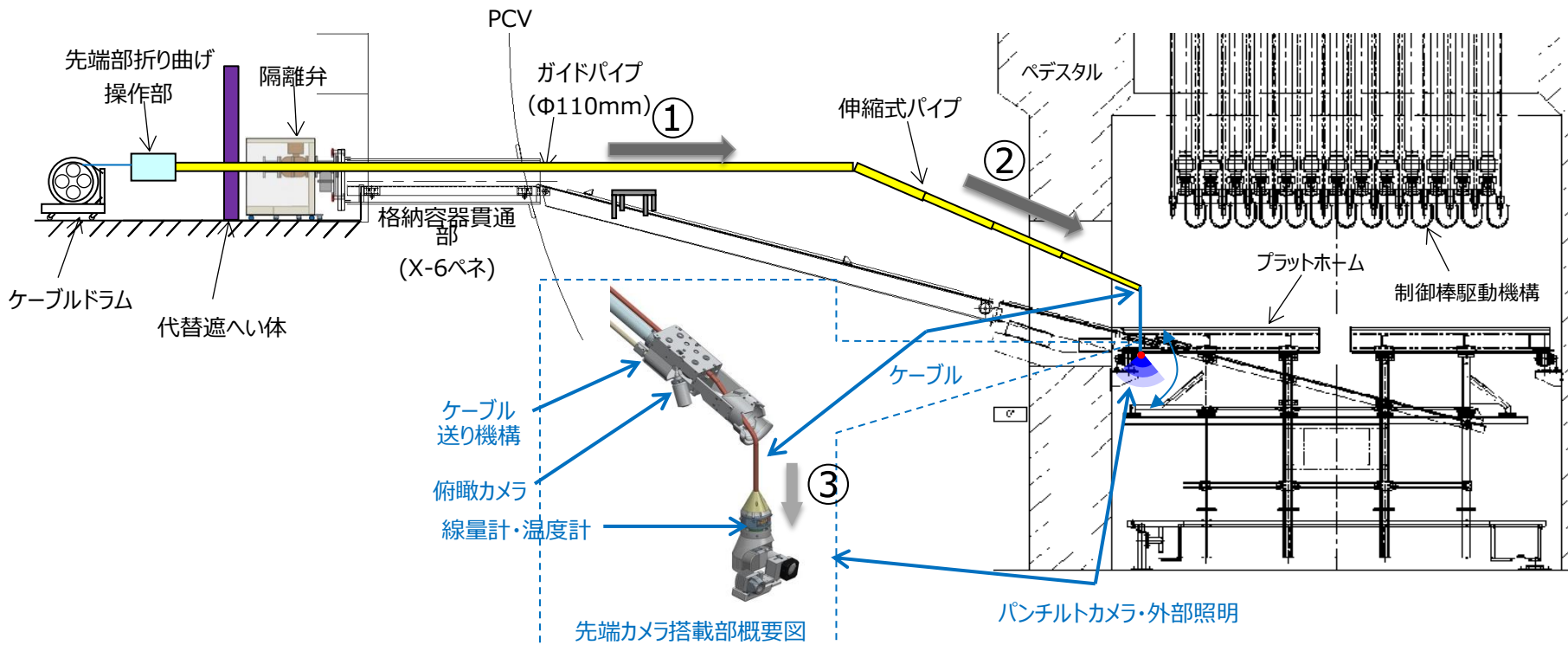
今回の調査計画～調査内容及び手順～

■ 調査内容

プラットフォーム下の状況確認

■ 調査手順

- ①ガイドパイプ挿入 ⇒
- ②伸縮式パイプ伸展 ⇒
- ③パンチルトカメラ吊降し ⇒
- ④調査



今回の調査装置の特長

◆画像取得範囲の拡大

⇒パンチルト機構 (①) を設けて広範囲を調査

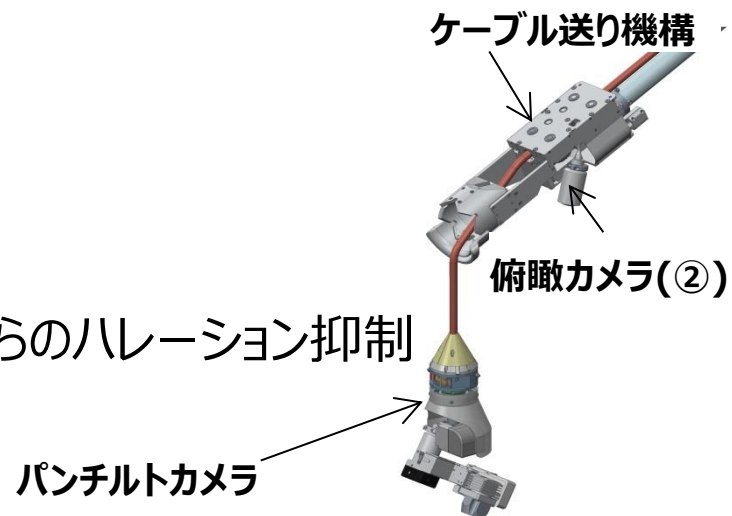
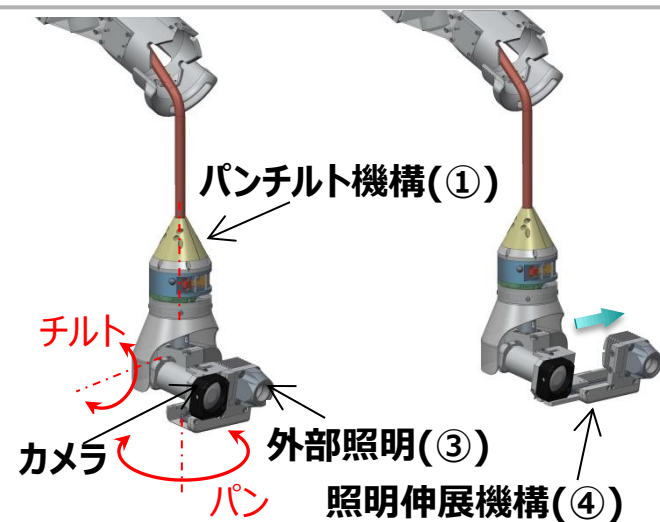
◆遠隔操作性の向上

⇒俯瞰カメラ (②) を設けてパンチルトカメラの状況を監視

◆暗闇、霧等の条件下における視認性向上

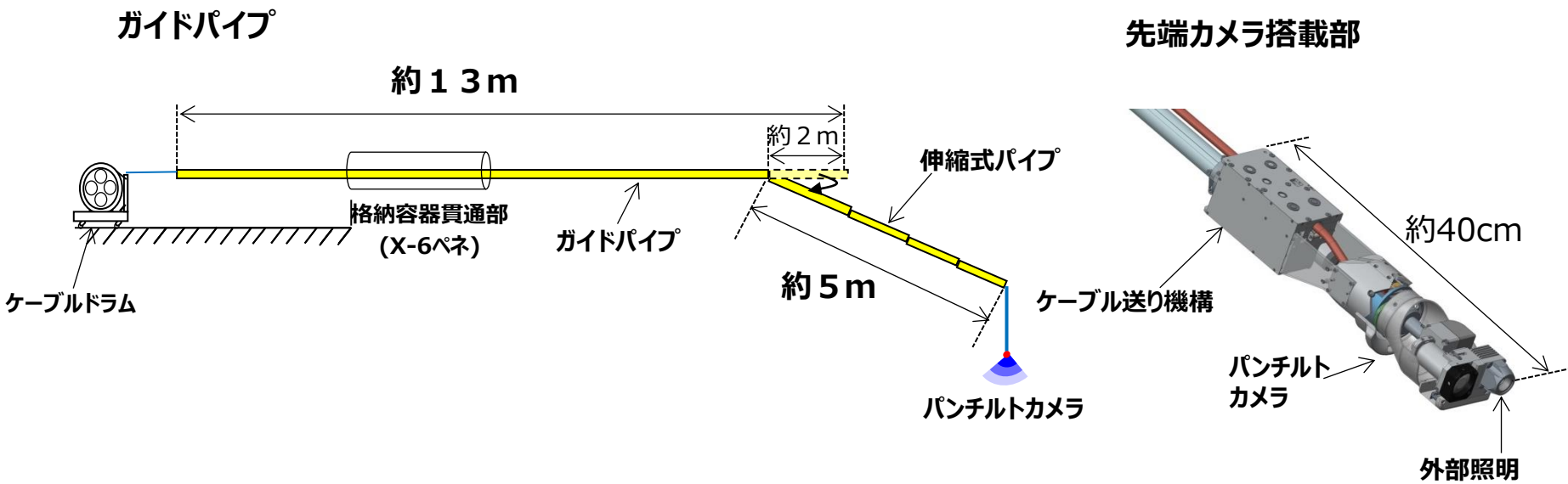
⇒外部照明 (③) の設置により照度向上

⇒照明伸展機構 (④) により光軸をずらして霧からのハレーション抑制



基本仕様

外形寸法	直径約 1.1 cm、ガイドパイプ長さ約 1.3m 伸縮式パイプ長さ約 5 m (伸長時)	先端カメラ搭載部 質量・寸法	質量 約 2 kg, 長さ 約 40 cm
特徴	カメラ 2 台 (パンチルトカメラ、俯瞰カメラ)、 外部照明(LEDライト)、ケーブル送り機構、 線量計、温度計	電源	有線により給電
耐放射線性	約 1, 000 Gy (グレイ)	ケーブル長	約 40m



TOSHIBA

Leading Innovation >>>